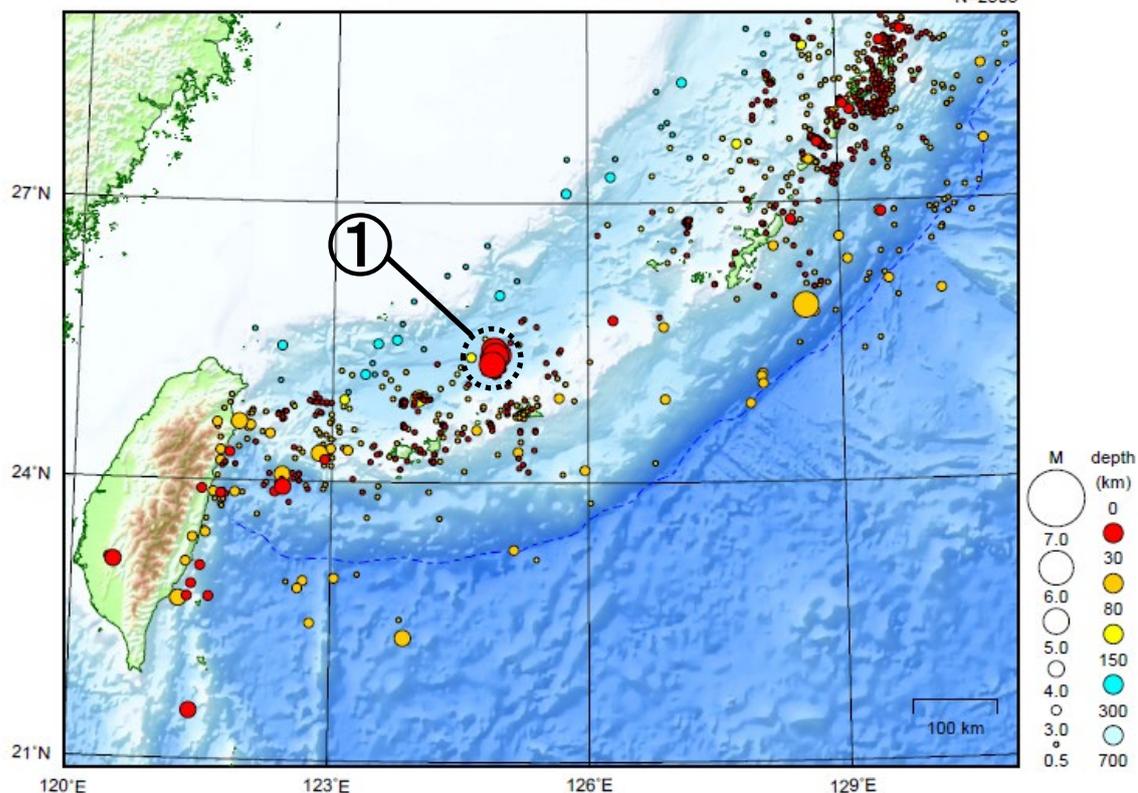


沖縄地方

2026/02/01 00:00 ~ 2026/02/28 24:00

N=2305



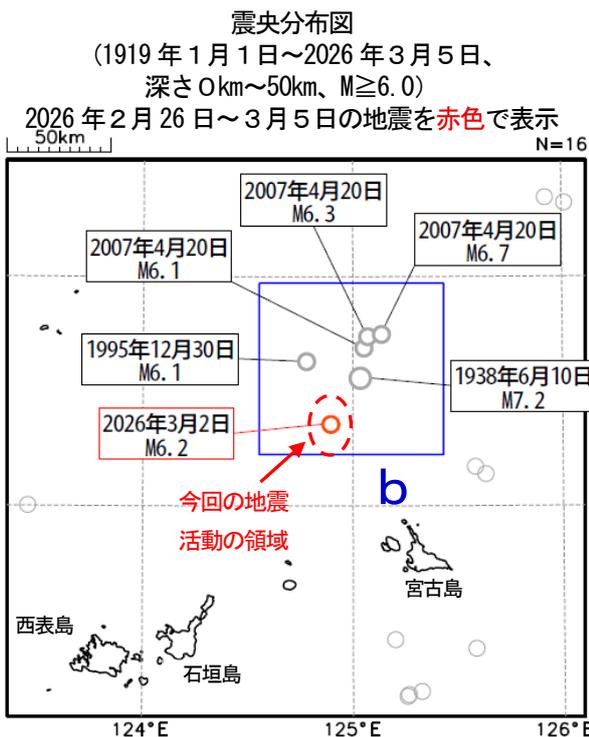
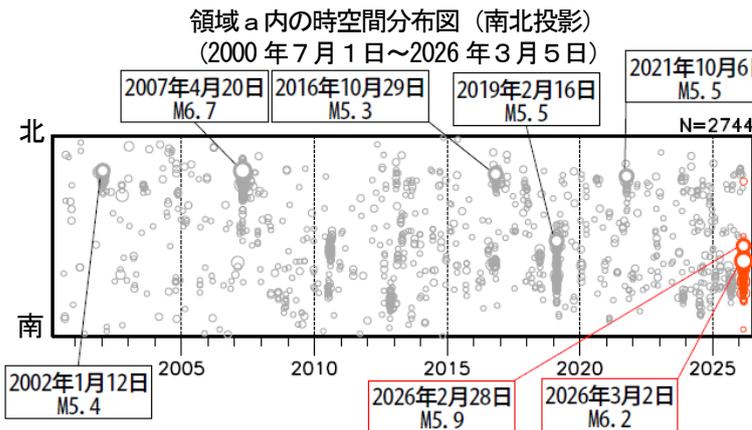
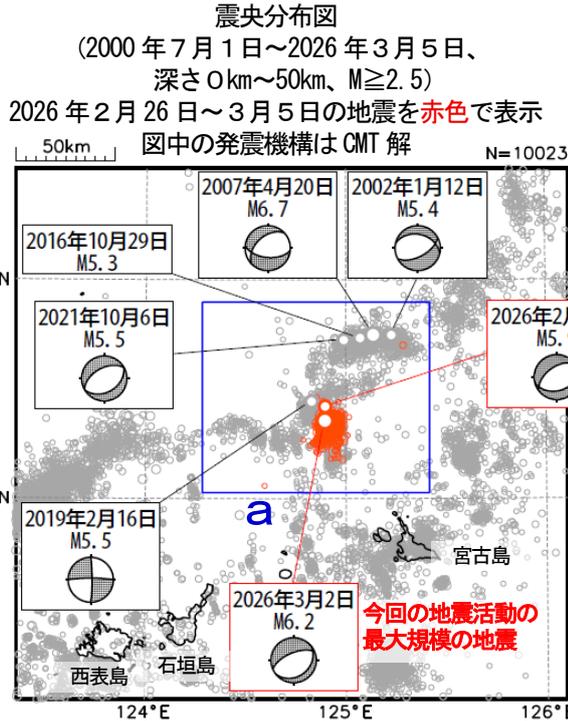
地形データは日本海洋データセンターの J-EGG500、米国地質調査所の GTOPO30 及び米国国立地球物理データセンターの ETOPO2v2 を使用

- ① 宮古島北西沖では、2月中に震度1以上を観測した地震が17回（震度2：6回、震度1：11回）発生した。このうち最大規模の地震は2月28日に発生したM5.9の地震（最大震度2）である。

[上述の地震はM6.0以上または最大震度4以上、陸域でM4.5以上かつ最大震度3以上、海域でM5.0以上かつ最大震度3以上、その他、注目すべき活動のいずれかに該当する地震。]

気象庁・文部科学省

宮古島北西沖の地震活動



宮古島北西沖では、2026年2月26日から地震活動が活発となっている。この地震活動により、2月26日から3月5日までに震度1以上を観測する地震が28回（震度3：1回、震度2：12回、震度1：15回）発生した。これらの地震は陸のプレート内で発生した。このうち最大規模の地震は、3月2日19時39分に発生したM6.2の地震（最大震度3）で、発震機構（CMT解）は、北北西-南南東方向に張力軸を持つ正断層型であった。

2000年7月以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域a）では、M5.0以上の地震活動が時々見られる。2007年4月20日には、M6.7の地震（最大震度3）が発生した。

1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域b）では、M6.0以上の地震がまれに見られる。1938年6月10日にはM7.2の地震（最大震度4）が発生しており、宮古島平良港に地震後10分で津波が襲来して高さ1.5m（目視による最大の高さ）、栈橋の流出などの被害があった（被害は、日本被害地震総覧による）。

